

チャペルだより

祭壇の「ぶどうの木」

チャペルの一番奥には祭壇が備えられているが、祭壇の両脚の部分には金色でぶどうの木が装飾されている。よく見ると、ぶどうの幹と枝がよくデザインされており、豊かな実を結んだぶどうの実もデザインされている。

ぶどうの木は、聖書時代のパレスチナ地方で一般的によく栽培されており、ぶどうの木は人々にとって身近な、誰でも知っている存在であったため、「わたしはまことのぶどうの木（ヨハネ15章1節）」など、ぶどうを用いたたとえ話が聖書の中で用いられているのである。

ぶどうは豊かな実を結ぶために、多くの手間が必要な植物である。ぶどう

の枝すべてがよい実を結ぶのではなく、よい実を結ぶ枝は残し、そうでない枝はすべて切り捨ててしまわねばならない。そうでなければよい実を結ぶことが出来ないのである。多くの努力と忍耐をもってこそ、初めてよい実を得ることが出来る、それがぶどうの木であり、聖書の中でたとえとして用いられる理由である。さらにぶどうの木は地上部分の5倍の根を持っていると言われており、豊かな実を結ぶための忍耐は単に言葉だけではない、大きな意味を持つことであるのが示唆されている。

初代教会において人々は、毎朝山に登り、一日の生活に先がけて礼拝を持ったという。

当時の礼拝は、詩編を歌って神をほめたたえ、聖書を朗読し、祈りを献げて日々の生活を神と人のために清める内容であった。

ところで当チャペルでは毎朝チャペル

アワーが行われ、生徒たちは一日の始業前に祈りの時を持つ。チャペルアワーは初代教会から続いている礼拝そのものである。

明日のこともわからない、不完全なところの多い人間が生きていくために、祈りが欠かせないと聖書は語っている。祈りとは、人間が忍耐をもって歩んでいくために必要な営みであると伝えているのである。

チャペルアワーを通して生徒の皆さんにも是非このことを心に刻んでいただきたいと願っている。

(チャプレン
鈴木 伸明)



行事予定～中学校～

7/19(土)	1学期終業礼拝 (夏期休業～9/3)
20(日)	1年社会科校外学習①
23(水)	1年社会科校外学習②
31(木)	米国キャンプ出発(～8/12)
8/13(水)	ハケ岳ボランティア登山(～15)
9/4(木)	2学期始業礼拝 宿題試験
15(月・祝)	学校説明会
20(土)	運動会
10/7(火)	朝霞地区大会(～9)
16(木)	中間試験(～17)
19(日)	英検(学内受験)
25(土)	S.P.F.(文化祭)(～26)

行事予定～高校～

7/19(土)	1学期終業礼拝 (夏期休業～9/3)
25(金)	オーストラリア短期留学出発(～8/17)
8/1(金)	英国サマースクール出発(～8/19)
13(水)	ハケ岳ボランティア登山(～15)
25(月)	榛名ボランティアキャンプ(～28)
9/3(水)	認定試験
4(木)	2学期始業式 宿題試験
15(月・祝)	学校説明会
24(水)	3年卒業研究論文仮提出(～30)
10/2(火)	1年対象大学特別授業
16(木)	中間試験(～17)
19(日)	英検(学内受験)
25(土)	S.P.F.(文化祭)(～26)

2008年度S.P.F.(文化祭)日程

日程	10月25日(土)	10月26日(日)
	中学 10:00～16:00 高校 10:00～17:00	中学 9:00～15:00 高校 9:00～15:30

文化祭当日に、学校紹介のコーナーを設けます。
内容：学校関連の展示
本校に関する個別質問コーナー
2009年度入学試験願書販売

2008年度学校説明会

○中学校

- ① 9月15日(月・祝)
1回目 9:30～10:30
2回目 11:00～12:00
- ② 11月9日(日)
1回目 9:30～10:30
2回目 11:00～12:00

○高校

- ① 9月15日(月・祝)
13:30～14:30
- ② 11月9日(日)
13:30～14:30

※自家用車での来校はお断りします。
※参加申し込みは不要です。時間までに本校にお越し下さい。
上履きは不要です。
※各日、1回目が満席の場合、2回目にまわって頂くことがあります。また2回目が満席の場合、立ち見になることがあります。ご了承下さい。

《編集後記》

蒸し暑い日が続く、本格的な夏の到来とともに、いよいよ待ちに待った夏休みが始まります。1学期は、研修旅行、クラブの大会、定期試験など様々な行事があり、なんとなく慌ただしくあっという間だったと感じている人もたくさんいるのではないかと思います。是非、自分なりに1学期を振り返ってみる時間を持ちましょう。

長い夏休みも、気付けばあっという間に過ぎるものです。楽しく充実した休暇にしましょう。

Campus News Rikkyo Niiza 第42号

編集：立教新座中学校・高等学校 教務・入試広報課
発行：立教新座中学校・高等学校

〒352-8523 埼玉県新座市北野1-2-25 ☎048-471-2323(代表)



Campus News Rikkyo Niiza

ホームページアドレス <http://niiza-hs.rikkyo.ac.jp/>

〔No.42〕

特集 クラブ活動 **中学** 朝霞地区大会 & **高校** 夏の大会

春から夏にかけては運動部にとって公式戦のシーズンです。

今号は中学生の朝霞地区大会を中心に、クラブ活動に打ち込む中高生の姿を特集します。



朝霞地区大会の結果

- 野球部
準決勝敗退 ベスト4
- バレー部
一回戦敗退
- バスケットボール部
3位 県大会出場決定
- サッカー部
準決勝敗退 ベスト4
- ソフトテニス部
団体戦 決勝リーグ敗退
- 卓球部
男子個人シングルス
金子 響(3-B) ベスト8
- 剣道部
団体戦 2位 県大会出場決定
個人戦 県大会出場決定
萩原 遼(3-C)
東 武瑠(3-E)
- 柔道部
個人戦
81kg級優勝 福島 敬二郎(1-D)
90kg級優勝 太田 敬 秀(1-E)
55kg級 2位 久保田 遼(2-B)
- 水泳部
県大会出場決定
100m・200m平泳ぎ優勝
豊田 大貴(2-D)
100m背泳ぎ 2位・200m背泳ぎ 3位
小曾根将人(2-C)
400mメドレーリレー優勝
400mリレー 2位
総合優勝
- 陸上競技部
県大会出場決定
共通男子400m優勝 片山 大輔(3-A)
共通男子800m 2位 片山 大輔(3-A)
男子砲丸投げ優勝 杉山 慶多(3-B)
男子走り幅跳び 2位 小林 尚人(3-E)
男子走り高跳び 2位 加藤 仁(1-C)
1年男子100m 3位 田中 直也(1-B)
3年男子100m 3位 山本 凱(3-E)
1年男子1500m 7位 上田 航大(1-B)
1年男子100m 8位 宮本 大暉(1-B)

特集 クラブ活動 [中学] 朝霞地区大会 & [高校] 夏の大会

中学生の朝霞地区大会は、埼玉県大会、ブロック大会（関東大会）、そして「全中」と呼ばれる全国大会へとつながる大会です。和光・朝霞・志木・新座の4市にある中学校が一度に県大会への切符をかけて競技をおこないました。

夏の大会が最後になるクラブの3年生にとっては、中学3年間の集大成ともいえる大会です。また、1年生にとっては、初めて中学生の試合に参加する機会になりました。

試合に出ている生徒は全力でプレーをし、試合に出ていない生徒も応援の声を大きく出して仲間を力強く支えました。また、多くの保護者の方々にも応援に駆けつけていただき、盛り上がる大会になりました。

サッカー部

朝霞地区大会の屈辱

中学3年E組 梅村 憲男

僕たちは県大会に行く一步手前、朝霞地区大会の準決勝で新座三中に2 vs 0で負けてしまった。僕はとても悔しかった。県大会出場という夢があと一步で途絶えたからだ。僕は悔し涙が止まらなかった。ようやく落ちついたので僕は今までの練習の日々を思い返してみた。負けた原因をいち早く知りたかったせいか、いつも以上に鮮明に浮かんできた。練習に迷いは無かったと思う。朝練や午後練でも、皆しっかりと走っていて、技術練習でも声を出して立教新座らしく元気に練習できていたと思う。おそらく負けた原因は勝利を過剰に思い込み油断してしまったことだと思う。

一回戦と準々決勝で3点差をつけて勝ったことと、ライバル視していた新座四中が他中に負けたことがそうさせてしまったのかもしれない。僕はどんな相手でも決してナメてはいけないということを学んだ。

これからは今大会の悔しさをバネに高円宮杯に出場できるように頑張る。また県大会出場の喜びを、もう一度感じたいと思っている。



柔道部

朝霞地区大会

中学3年A組 大西 勝顕

こんにちは。中学3年の大西勝顕です。それでは、今年の朝霞地区大会の結果や抱負などをご報告します。団体戦は、優勝が朝霞第二中学校、準優勝は朝霞第三中学校です。個人戦では、55キログラム以下級で中学2年生の久保田遼君が準優勝、73キログラム以下級は、中学1年生の岩月惇君が準優勝、81キログラム以下級は、中学1年生の福島敬二郎君が優勝、90キログラム以下級は、中学1年生の太田敬秀君が優勝というすばらしい結果になりました。今回の朝霞地区大会は僕ら中学3年にとっては中学校最後の公式試合であったため、なんとしてでも勝ちたいという気持ちで臨みました。結果は個人でも団体でも優勝できませんでしたが、必死になって取りくんだ結果なので悔いはありません。中学2年生と1年生はほぼ全員が入賞しているので、これからも一生懸命練習にはげみ、来年は僕らが行けなかった県大会に進むだけでなく、関東大会や全国大会にも進んでくれることを期待しています。



朝霞地区大会を観戦して

校長 西村 俊彦

2008年度から新座市大会は無くなり、中学校体育連盟主催の地区大会は新座、朝霞、和光、志木の4市で実施することになりました。今回は、新座、朝霞、和光の体育施設を巡り、野球、サッカー、バスケット、卓球、柔道、剣道、バレー等を観戦しました。5月には早々と陸上の大会を新座市陸上競技場で観戦してきました。

新座市の各中学校の校長先生が集まると、年間総合優勝の「男子の新座市優勝旗」はここ数年立教新座に独占されているので、何とか取り返したいと言っています。私は今後とも校長室に「優勝旗」が飾られていることを願っています。また、どの会場に行っても、立教新座の部員数の多さは群を抜いています。特に野球、サッカー、テニスは、他の学校を数でも圧倒しています。

今回、地区大会で勝って埼玉県大会の出場権を得た部は剣道部、柔道部、バスケットボール部、陸上部です。体操部も県大会に出場します。またテニス部は関東大会出場が決まっています。サッカー、野球もあと一步というところで敗れましたが、本校の生徒たちの活躍振りには拍手を送りたいと思います。これは生徒たちの努力はもちろん顧問の先生方の指導と、保護者のご理解があって初めて得られる結果であると思います。生徒の皆さん、自分のために、そして立教新座中学校のために今後とも練習に精励し、好成績を挙げられるように願っています。

剣道部

朝霞地区大会に出場して

中学3年C組 小野 貴仁

6月5日、6日、僕たち中学剣道部の朝霞地区大会があった。僕は団体戦の5人のメンバーに選ばれたのだが、他の選手と違い、剣道を始めた時期が遅かった。だからこの大会でも足を引っ張ることが多かった。

しかし、皆で力を合わせて、僕たちは団体戦では2位で県大会出場。そして個

人戦でも部長と副部長が県大会出場することになった。

団体戦は2位とは言ってもギリギリの戦い(だいたい僕のミス)だったので、もっと強くなないと県大会では勝ち上がれず、悔しい思いをすることになる。

これからもっと稽古を積んで一人一人弱点を無くして強くなり、なにながなんでも関東大会に出場したい。だからこれからは毎日の稽古を大切に、チームの穴ではなく、一回一回勝ち、チームを勝利に導けるような存在に僕はなりたい。



在校生保護者対象授業公開

毎年2回行われる授業公開の1回目が連休明けの5月10日(土)、12日(月)に行われました。両日で1,484人の保護者の方が授業を参観されました。2日間とも参観された熱心な保護者の方々も多数いらっしゃったようです。アンケートは150通集まりました。

中学校では

- ・授業を参観できて良かった。
- ・先生方の熱意が感じられた。
- ・教え方が丁寧で良かった。
- ・生徒も静かに授業を受けていた。
- ・楽しそうな雰囲気良かった。

などの感想、意見が多くありました。公開授業という緊張感が教員、生徒にあったのかもしれませんが、概ね好意的な感想が多く、中学の授業は、保護者の期待、生徒の要望に応えることができていると受け止めています。

高校の授業についても、中学と同じような感想もいただきましたが、少数ながら次のような厳しい、そして貴重な意見、感想もありました。

- ・授業が一方通行である。
- ・クラスによっては、授業を受ける態度に問題を感じた。
- ・寝ている生徒がいた。教師も黙認している。

本校としては、生徒に回答してもらう「授業アンケート」ともあわせて、今後の授業改善につなげていきたいと思えます。

教頭 澁谷 壽



卒業生が集まりました —中高同窓会—

6月21日(土)に、中高同窓会が開かれました。この同窓会は、1年に1回、同窓会役員が中心となり、旧制中学時代の卒業生も含めた17,959名の卒業生に呼びかけて行われています。今年は新座で行われ(1年おきに、池袋と新座で開催)、卒業生189名が母校を訪れました。チャペルでの礼拝と同窓会総会のあと、大学の食堂で懇親会が催され、級友との楽しい語らいの時間もたれました。

今年の懇親会には、退職された教職員の方々も数多く出席していました。懐かしい先生の顔を見て、おそろおそろ「先生、僕のこと覚えてます?」と挨拶をする卒業生。「おおー、久しぶりー」という先生の声に安心し、うれしそうに近況報告をする姿や、一緒に記念写真を撮る姿が会場のあちこちで見られました。2時間半の懇親の時もあっという間に過ぎ、来年の再会を約束し、にこやかに帰路につく卒業生の顔が印象的な1日でした。

教育実習生、母校に帰る

教育実習を終えて

—鷗外は好きですか?—

立教大学文学部日本文学科4年 木村 公優
新座の地で過ごした高校時代を振り返ってみると、わたしにとっては、森鷗外の『舞姫』が精神的にモニュメンタルな何かであったような気がします。その印象は未だに模糊たるものですが、わたしはなぜか『舞姫』に魅かれるのです(読んだことのない生徒の皆さんは、ぜひ若いうちに読んでみてください。)

教育実習生として新座に通い、生徒との出会いを経て池袋へと帰るわたしの大きな軌跡は、「異界」での体験を回想してこの手記を書くところまで含めて、豊太郎のそれとよく似ています。わたしが「異界」で及ぼした影響は、豊太郎さながら、良くも悪くも深大なものであったでしょう。しかしながら、わたしにとって刮目すべきは、わたしが「異界」から与えられた影響です。実習生とはいえ一教員として生徒の前に立つ責任の重さ、教えることによって教えられるという不思議な感覚、教育とは決して一方向的な営みではないという実感。これらは、「異界」に足を踏み入れずにはまず知りえなかったことだと思えます。「バルリン」が豊太郎のくまことの我を呼び覚ましたように、「新座」はわたしをく教職としての我ともいべきものの萌芽へと導いたようです。

わたしの回想は、「書く」こととともに終わります。しかし、わたしの手記を最後まで『舞姫』に擬えるならば、それは「異界」での体験が結末を迎えたことしか意味しません。「日常」に帰ってからの行く末は、読者の自由な解釈に委ねられるのです。わたしは最後に、教育実習のような良い経験は「世にまた得がたかるべし」とだけ述べておきます。

教育実習を終えて

—ミスチルは好きですか?—

早稲田大学理工学部社会環境工学科4年 加藤一紀

こんにちは! 中学2年C組と高校3年3組を主に受け持っていた加藤一紀です。人の生活を支える技術が学びたいと思い早稲田へ進み、今回教職免許を取得するために母校に帰ってきました。母校の教壇に立って3年半ぶりに教室を見た時、相変わらずの雰囲気が広がっていて少し安心しました。反応が薄くて凹みそうな時もありましたが…(笑)。

高校生活を振り返ると、「受験クラス」と「ゴルフ部」の2つが思い浮かびます。それらを一生懸命やっていました。でもやはり一番の思い出は友達と過ごす毎日の時間がただただ楽しかったことですね。

突然ですがあなたはMr.childrenのPADDLEを聞いたことがありますか? ないなら今すぐ聞いてみてください。PADDLEの歌詞には学校生活を過ごす上で良い言葉が綴られていると思います。学校、部活、バイト。あなたは今、一生懸命にやれていますか?

学校が退屈で外に夢中人! 確かに外にはもっと魅力的な世界が広がっています。でもそこは社会という名の「荒れ狂う海原」です。いずれ行き着くその海原で楽しく舵がきれるようになるには、今を一生懸命になることです!

頑張っているけど今日は何も起きないかもしれません。けれど、今という時間と友達を大切に明日へと元気良く、時に「虎視眈々」と漕ぎ続けていればもっと楽しくなることでしょう。自分も、そんなふうにして一人一人が見せる「フラスコの中の化学反応」を見届けられるような理科の先生を目指して切磋琢磨したいと思います。



キャンパストピックス

修学旅行に行ってきました

四国ならではの

中学3年B組 南郷 周太

愛媛県、高知県を巡る四国ツアーに参加した私たち45人の生徒と2人の先生は、四国の自然と伝統を自分の目で見てきました。この旅で私たちは感動、驚き、関心、そして現地の人の温かさを感じました。

初日、早起きでうつらうつらしていた私たちは松山空港に着きました。埼玉より暖かい空気にふれた私たちはいっぺんに眠気が吹き飛びました。向かった先は内子町。すばらしい町並みと伝統、とても和みました。二日目、大洲城、宇和島城などの歴史的建造物を巡り、四万十川学遊館へ行きました。そこではトンボや魚など湖や草むらにいる動物について勉強をしました。虫とり魚とりはとても楽しく懐かしくなりました。三日目、漁業体験やシュノーケル体験では海の魚に触れ合うことができました。現地の人もすごくやさしかったです。四日目、カヌー体験では初めての経験をして、四万十川の雄大な自然を味わうことができました。五日目、天日塩づくり、カツオのたたきづくりでは、職人さんや漁師さんの知恵や昔ながらの営みを知ることができました。

この旅で私たちは良い体験をいくつもしたし、四国の人たちにいろいろお世話になりました。私達は私達だけの、四国ならではの経験ができたと思います。



沖縄の平和

高校2年2組 志摩 侑也

私は沖縄の校外研修旅行でいろいろなことを学んだ。特に戦争については、戦争体験者の話を聞いたり、資料館を見学したりした。初日の夜に宿舎で比嘉文子さんの話を聞いた。比嘉さんは、旅行前に映画で見た、ひめゆり学徒隊として戦争を経験した方だった。陸軍病院の話、友人が亡くなった話、防空壕の話など、普通ならば思い出したくないようなことを私たちに真剣に話してくれた。私と同じぐらいの男の人たちが、爆弾を背負って敵に突入していった話はとても印象に残った。比嘉さんが最後に「自分の命と共に、他人の命も大事にしなさい」と言っていた。そして「歴史を学んでほしい」と言ったので、もっとしっかり授業を受けたいと思う。三日目に平和祈念資料館へ行った。そこには戦争中の写真や物などが展示されていた。ヘルメットなどがあつたが絶対に役に立たないような薄さだった。中でも一番衝撃的だったのは、誰がどんな気持ちで撮ったのだろうと思うような戦場の写真だった。バラバラの遺体の写真などがたくさんあつた。比嘉さんの話を思い出しながら展示物を見ると、戦争の恐ろしさを改めて感じた。資料館の展望台からは青い海が見えたけれど、戦争の時の海は恐ろしかっただろう。その日はガマ(壕)へも行った。壕は懐中電灯がないと何も見えなくて、真っ暗だった。

沖縄は、マリンスポーツも、自主研修も楽しかった。文化もすばらしいと思った。知らない人でも気軽に話しかけられる独特の雰囲気は居心地がよかった。沖縄が戦場から美しい島に生まれ変わったのも、沖縄の人の明るさがあったからだろう。

立教大学学部学科説明会

今年も、高校2年生を対象とした学部学科説明会が下記の日程で行われました。

6月18日(土) 池袋の6学部
文学(69)、経済学部(143)
経営学部(78)、社会学部(89)
法学部(113)、理学部(33)

6月25日(土) 新座の3学部
観光学部(86)、コミュニティー福祉学部(38)
現代心理(79)

※()内は聴講希望数

一昨年から2学部増えての説明会ですが、例年に比べ各学部の説明聴講希望者は文学部を除いて昨年並みか、かなりの減少が見られる学部もありました。

1学部25分の説明で、伝える大学の先生方もOHPやpower pointを使い、視覚に訴えながら、その学部の魅力を十二分に引き出そうと苦勞されていました。その短い間に生徒達も一言も聞き逃すまいと真剣に取り組み、静粛の中説明会が進行していきました。質疑応答の時間も取られていましたが、手を上げる生徒はない

だろうとの配慮から、司会の方が、生徒が聞きたいと思っていそうな質問を、説明が終わるたびに下さいました。集中した説明と的を射た質問で、生徒達にとって、とても充実した説明会になったと感じています。座席も指定したことから、私語も全くなく、無事説明会は終わりました。1学部25分という時間は短いように思えましたが、複数学部を聴講する生徒が大半である中、緊張感を持って聞くにはちょうどよい時間であると感じました。

高2学年主任 後藤 直之

特集 クラブ活動 [中学] 朝霞地区大会 & [高校] 夏の大会

高校生の夏の大会も現在行われています。日々の厳しい練習の成果を発揮すべく、どのクラブも健闘しています。

3年生にとってはこの夏の大会が高校生活最後の大会です。一戦一戦が引退をかけた試合になります。チームの世代交代となるこの時期、3年生は3年間のクラブ活動に何を想うのか、そして新たにチームを引っ張る2年生の意気込みを新旧キャプテンに聞きました。

バスケットボール部

3年間のクラブ活動を振り返って

バスケ部での活動を思い出してみると、正直、きつい練習ばかりが頭に浮かんできます。でも同時に、その厳しい練習を部員のみんなと頑張っ乗り越えてきたと思います。特に、同学年の友達には練習でいろいろ協力してもらって支えてもらいました。

キャプテンになるまでは、基本的には自分が上手くなるために部活に入っているつもりだったけど、キャプテンになってからは部員の代表として怒られることがあり、一人一人の行動で部活が成り立っているのだと強く感じました。そして自分の行動にそれまでよりもずっと責任を持つようになりました。なので、僕をキャプテンに指名してくれた先生・先輩にとっても感謝しています。

このように僕が部活で経験したことは、これから先になかなか経験できないものではないかと思っています。非常に貴重な経験をすることができました。ありがとうございました。

3年4組 小谷 涼介

新キャプテンの抱負

ついこの間まで私たちを率いてくれていた先輩たちが引退し、いよいよ自分たちが部活を引っばっていく立場になりました。先輩たちが抜けた穴は予想以上に大きく、大変なことであると、最高学年という立場になってはじめてわかりました。そういう中で、新しくバスケットをはじめた人が何人かいたり、コーチが変わったり、なおかつスタートしたばかりでまだ少し不安定なチームを、うまくリーダーシップを発揮してまとめていくことが、今の自分のキャプテンとしての役目だと思っています。これからは、みんなまで上を目指しながらたくさん練習を積んで、よい結果が出せるようにがんばるつもりです。

2年4組 矢嶋 弘次郎



テニス部

3年間のクラブ活動を振り返って

僕は中学からテニス部に所属し、高校ではキャプテンをやらせていただきました。キャプテンになり、僕の高校生活の中心はテニスでした。テニス部は部員数がとても多く、先輩方も強かったので、部の皆にキャプテンとして認めてもらえるかとても不安でした。その気持ちからひたすら練習をしていました。

無我夢中であつという間の三年間、気がつくとも最後の大会でした。何としてもこの大会で勝ちたいという強い思いで試合に臨みました。試合中、足がつってしまい、試合を諦めかけた時も、仲間の応援のおかげで僕は試合を続けることができました。その試合に勝ち、県大会出場を決めたことは僕の一番の思い出です。僕はテニス部を通して仲間の大切さ、絶対に最後まで諦めないことの大切さを知りました。そして精神的に強くなれたと思います。

後輩のみんなには、後悔だけはしないように何事も最後まで全力で取り組んで欲しいです。クラブ活動に本気で打ち込めば絶対何か大切なものを得ることができると思います。

3年5組 木田 耕平

新キャプテンの抱負

僕は中学一年生の時にテニス部に入り、そのまま高校でもテニス部に入りました。しかし、高校の部活に入ってみると中学の時とくらべて周りの学校のレベルの高さに驚かされました。高校一年生の最初の団体戦では県ベスト8という結果に終わってしまいました。そのようなことがあり、僕はこのままではいけないと思いました。部活の中では先輩から試合に臨む気持ちや練習の重要性などをこの一年で学び取ることができました。先輩から学んだことを活かして、特に練習では目標を持って常に上を目指して練習できるように、キャプテンとしてテニス部を引っ張っていくつもりです。そして今年こそ関東選抜大会やインターハイなどに出場したいです。

2年7組 大竹 徹



News

3年3組の黒沢大介君(サイクル部所属)が2008年マウンテンバイク世界選手権大会に出場しました。

6月17日～22日、イタリアで開催された世界大会に日本代表選手として招集された黒沢君は、ダウンヒル男子ジュニアに出場。見事予選を通過し、決勝に駒を進めるという大健闘をみせました。これからの活躍にも注目です!

